

## 令和5年度 第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針

番号	意見	対応方針	参考
1	<p>【住吉区総合防災訓練について】</p> <p>住吉区総合防災訓練で配付したアンケートの結果について、自分の地域の一時避難場所や、災害時避難所と一時避難場所の違いを知っているかという質問に対して、ほぼ100%が知っていると回答があつたが、訓練はほぼ毎年同じ人が参加しており、区民全体会への浸透率ではないことを理解してほしい。また、アンケートを実施するのであれば、質問項目を変更してはどうか。</p>	<p>ご意見のとおり、訓練の参加者は毎年ほとんど同じ方といいうのが現状となつております。また、若い人の参加が少ないといいうのも課題としてござ見をいたしております。総合防災訓練前には、広報掲示板やX（旧Twitter）、広報紙、区ホームページでの周知、昨年度からは新たに青色防犯バトルロールカーでの広報といった取組を実施しておりますが、今後より多くの区民に総合防災訓練等の防災の取組を知つていただき、訓練等にご参加いただけるよう、これまでの周知方法に加えInstagramやLINEを活用する等、より効果的な周知方法を検討してまいります。</p> <p>また、今年度の総合防災訓練で配付するアンケートの内容についても、次年度以降の防災訓練の取組に活かせるよう、再度検討いたします。</p>	
2	<p>【災害時のアレルギーへの対応について】</p> <p>近年は食物アレルギーがいわわれているが、学校等にはアナフィラキシーショックを起こしたときに、医師免許等がなくとも使用できるエピペン等の治療薬が置かれていることがある。区役所としてなにか対応を考えられるか。</p>	<p>災害時には、アレルギーをお持ちの方が避難されることも想定されますので、食料の配布時等には、アレルギー表示を行うとともに、ご自身でアレルゲンをご確認いただくよう、声掛けが必要であると考えております。</p> <p>エピペン等のアナフィラキシー症状への治療薬は、使用期限が約1年と短く、交換等の費用も必要となることから、区役所として配備はしておりません。</p> <p>アレルギーをお持ちの方への配慮が必要であることを訓練等で呼びかけるとともに、非常用持ち出し品としてエピペン等の治療薬をご持参いただくよう啓発に取り組んでまいります。</p>	小林委員 畠委員

## 令和5年度 第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針

番号	意 見	対 応 方 針	参考
3	<p>【学校との連携について】 義務教育中の小学生や中学生に対して、防災学習の時間を設けることはできないか。</p>	<p>防災学習を通じて、小学生や中学生が防災に関心を持ち、若い世代が防災の取組に参画することに繋がるため、その機会を設けることは非常に重要であると考えております。取組は様々ですが、学校と地域が中心となつて防災イベントを実施していただきたい、いる事例もあり、中でも墨江丘中学校においては、ジュニア防災リーダーを育成し、学年ごとのカリキュラムを作成するなど、地域や区役所・消防署と連携した訓練等の防災活動に取り組まれています。</p> <p>また、大阪市地域防災計画では、【学校園等は安全教育を実施すること】と定められていることから、区役所も職場体験や土曜授業を通して協力してまいります。</p>	小林委員 畑委員

# 令和5年度住吉区総合防災訓練 アンケート

参考

地域：\_\_\_\_\_ 町会：\_\_\_\_\_ 男性・女性・その他 \_\_\_\_\_ ( ) 歳代

Q 1 訓練当日 9 時の防災行政無線からの放送とサイレンは聞こえましたか。

1. 聞こえた 2. 聞こえたが放送内容はわからなかった 3. 聞こえなかった

Q 2 訓練に参加したきっかけを教えてください。

1. 町会役員だから 2. 役員の声かけ 3. ポスター・チラシを見て  
4. ご近所の声かけ 5. ホームページを見て 6. その他 ( )

Q 3 あなたは、一時避難場所がどこかご存知でしたか。

1. 以前から知っている 2. 今回の訓練で初めて知った 3. 知らない

Q 4 あなたは一時避難場所と災害時避難所の違いをご存知でしたか。

1. 以前から知っている 2. 今回の訓練で初めて知った 3. 知らない

※一時避難場所…一時的に避難できる公園など。基本的に町会本部が設置され、地域の安否確認等を行う。

※災害時避難所…災害により自宅等での生活が困難な避難者が宿泊等の生活を行う施設。学校など。

Q 5 今回の訓練内容や自助・共助の重要性について理解できましたか。

1. 理解できた 2. 概ね理解できた  
3. あまり理解できなかった 4. 全く理解できなかった

Q 6 災害時に備えて家庭内で備蓄ができていますか。

1. できている（7日分） 2. 概ねできている（3日分）  
3. あまりできていない（3日分未満）  
4. 全くできていない

Q 7 災害時においてはさまざまなニーズに配慮する必要があります。

女性の視点を踏まえた避難所運営を行うために必要なこと（もの）は何だと思いますか。（女性以外もお答えください。）

[ ]

Q 8 今回の訓練で良かった点や課題、次回の防災訓練へのご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

[ ]

ご協力ありがとうございました。

# 令和5年度住吉区総合防災訓練 アンケート結果

回答者数:583名(災害時避難所で配布)

## 【世代別】

世代	人数(名)	世代	人数(名)
10歳代未満	4	60歳代	111
10歳代	5	70歳代	217
20歳代	2	80歳代	92
30歳代	12	90歳代	4
40歳代	35	未回答	23
50歳代	78		
合計		583	

1

2

Q1 . 訓練当日9時の防災行政無線からの放送とサイレンは聞こえましたか。

	選 択肢	回 答 率
1 聞こえた		45. 4%
2 聞こえたが放送内容は分からなかった		39. 3%
3 聞こえなかった		15. 3%

Q2 . 訓練に参加したきっかけを教えてください。

	選 抹肢	回 答 率
1 町会役員だから		65. 9%
2 役員の声かけ		10. 5%
3 ポスター、チラシを見て		11. 2%
4 ご近所の声かけ		4. 5%
5 その他		7. 8%

Q3 .あなたは、一時避難場所がどこかご存知でしたか。

	選 抹肢	回 答 率
1 以前から知っている		92. 2%
2 今回の訓練で初めて知った		7. 4%
3 知らない		0. 3%
4 全く理解できなかった		0. 4%

Q5 .今回の訓練内容や自助・共助の重要性について理解できましたか。

	選 抹肢	回 答 率
1 理解できた		62. 1%
2 概ね理解できた		34. 5%
3 あまり理解できなかつた		3. 0%
4 全く理解できなかつた		0. 4%

Q6 .災害時に備えて家庭内で備蓄ができていますか。

	選 抹肢	回 答 率
1 できている(7日分)		13. 2%
2 概ねできている(3日分)		34. 7%
3 あまりできていない(3日分未満)		46. 5%
4 全くできていない		5. 6%

参  
考

4

3

**Q7.女性の視点を踏まえた避難所運営を行うために必要なこと(もの)は何だと思いますか。**

**【ベース】**

- ▶トイレの充実
- ▶プライバシーの確保
- ▶更衣室、授乳室の確保
- ▶男女の生活スペースを離す
- ▶託児所や子どもとの遊びスペースを確保する

**【物資】**

- ▶乳幼児用品(粉ミルク、おむつ、離乳食、哺乳瓶)の充実
- ▶女性用品(生理用品等)の充実
- ▶電灯の確保
- ▶パーテーション

**【体制】**

- ▶避難所の運営に女性が参加すること。
- ▶性別で役割を決めない。(炊出し、掃除は女性など)
- ▶夜間の見回りや警備の実施

5

**Q8.今回の訓練で良かった点や改善すべき点**

**【良かった点】**

- ▶男女の更衣場所の設置があり、様々な配慮がされていると感じた。
- ▶多少の混乱はあったものの、次回に繋がるいい反省材料となった。
- ▶スマーズに避難誘導ができていた。訓練の成果がでている。
- ▶ジャッキや布担架の使用方法を学べてよかったです。
- ▶備蓄倉庫の確認ができて良かった。
- ▶災害はいつ起こるか分からないので、日々の暮らしから必要なものを確認して準備しておべきだと思った。
- ▶防災リーダーの参加が多く、安心感がある。
- ▶町会での協力体制を確認することができた。繰り返し行うことが重要。
- ▶毎年訓練に参加していても、分からぬことがある。訓練を通じてそれを少しづつ解消でき非常にいい機会だと思う。

6

**Q8.今回の訓練で良かった点や改善すべき点**

**【課題、改善すべき点】**

- ・防災スピーカーからの音声が聞き取りにくかった
- ・ペットの保管場所について検討が必要。
- ・訓練の周知をもっと徹底する必要がある。
- ・参加するのは毎年同じ人で、若い人の参加があまりに少ない。
- ・備蓄倉庫の整理を行い、何がどこに入っているか分かるようにすべきだと思う。
- ・備蓄物資について、さまざまな物資が必要になると思うので引き続き配備を続けてほしい。
- ・また、家庭での備蓄についても周知してほしい。
- ・障がい者や高齢者を重視した訓練も必要ではないか。

7